

試験時間	60分
------	-----

【注意事項】

1. 試験監督(試験開始)の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は60分です。
3. この問題冊子は1ページから3ページまであります。
4. 試験監督の指示により、問題冊子と解答用紙に受験番号および氏名を記入しなさい。
5. 試験中に問題冊子および解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および汚れ等に気づいた場合は、手を高く挙げて試験監督に知らせなさい。
6. 試験終了後、問題冊子と解答用紙はともに机の上に置いておくこと。持ち帰ってはけません。

問題 以下の文章を読んで、問1と問2に答えよ。

2022年7月14日昼過ぎ、沖縄県久米島の沿岸で30匹超のアオウミガメが網に絡まるなどして見つかった。多くは、首の付け根付近に刺されたような傷があった。関係者によると、地元の漁業者が「魚を獲ろうとしたらウミガメが大量に網にかかった。何匹かは逃がしたが、重いアオウミガメは動かせない上に噛みついてくるので、仕方がなく刺した」という趣旨の話をしたという。

アオウミガメは国際自然保護連合や環境省のレッドリストで絶滅危惧種に指定されている。環境省は2006年、ウミガメ類の生態や卵を見つけたときの処置方法などをまとめた「保護ハンドブック」を作成している。一方、「種の保存法」で捕獲や殺傷などを禁じる希少生物には指定されていない。

西表島では、八重山諸島でしか見られない絶滅危惧種の海草「ウミシヨウブ」が減った。群生地は魚の産卵場所やすみかになり、豊かな漁場を育んできた。網にかかったアオウミガメの消化管から大量のウミシヨウブが見つかったことから、アオウミガメによる被害とみられている。島でウミシヨウブの保全活動に取り組む元琉球大教授の高相徳志郎さんによると、アオウミガメ漁が専門だった島の漁師が引退した後、ウミシヨウブに被害が出始めた。「アオウミガメはウミシヨウブを根元付近からかじる習性があり、数年で一気に群生地が消滅してしまう。早く手を打たないと取り返しがつかなくなる」と危機感をあらわにする。

八重山諸島の黒島でウミガメ類を研究する「黒島研究所」の若月元樹所長は「久米島の件は、やったことは良くないが、起こるべくして起こった。沖縄のアオウミガメは明らかに増えすぎて、生態系や漁への影響が大きい」と指摘する。研究所によると、黒島近海のウミガメは近年400～500匹おり、約10年間で倍以上になった。アオウミガメを食べるサメが駆除された上、保護でアオウミガメの捕獲が激減したことが原因とみられる。沖縄県は漁業法に基づく漁業調整委員会指示で、食用や水族館の飼育などのため、承認を得た漁業者に限ってウミガメ類を捕獲することを認めている。2005年以降、沖縄県内で捕獲されたアオウミガメは年間50匹前後で、上限の205匹には到底届いていない。

〔毎日新聞 2022/8/1より抜粋・改変〕

※ウミシヨウブはインド洋から西太平洋の熱帯・亜熱帯に分布しており、国内では、西表島と石垣島のごく限られた浅い海に生息する。ウミシヨウブ群落は魚やイカの産卵場所であるばかりでなく、小魚の隠れ家や餌ともなっていることから、「海のゆりかご」と呼ばれている。

問1. 八重山諸島近海のアオウミガメとウミシヨウブ群落の生態系の現況について300字以内で説明せよ。

問2. 問1で答えた生態系の現況に対して、改善策と期待される効果を合わせて500字以内で述べよ。